

平成29年度

# 鹿屋市基金運用状況審査意見書

鹿屋市監査委員

鹿屋監第12号

平成30年6月29日

鹿屋市長 中西 茂 様

鹿屋市監査委員 大 藺 純 広

同 池 田 潤

同 今 村 光 春

平成29年度鹿屋市基金運用状況の審査意見について

地方自治法第241条第5項の規定により、審査に付された平成29年度鹿屋市基金の運用状況を示す証書類を審査した結果について、次のとおり意見を提出します。

# 目 次

## 基金運用状況審査意見

1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
4	審査の結果及び意見	1
5	運用の状況	2
(1)	鹿屋市土地開発基金	2
(2)	鹿屋市国民健康保険高額療養資金貸付基金	2
(3)	鹿屋市介護保険高額サービス資金貸付基金	2
(4)	鹿屋市いきいき茶産地づくり資金貸付基金	3
(5)	鹿屋市肉用牛導入事業基金	3
(6)	鹿屋市自家保留牛促進対策資金貸付基金	4
(7)	鹿屋市優良乳用雌牛導入資金貸付基金	4

## 平成29年度鹿屋市基金運用状況審査意見

### 1 審査の対象

鹿屋市土地開発基金  
鹿屋市国民健康保険高額療養資金貸付基金  
鹿屋市介護保険高額サービス資金貸付基金  
鹿屋市いきいき茶産地づくり資金貸付基金  
鹿屋市肉用牛導入事業基金  
鹿屋市自家保留牛促進対策資金貸付基金  
鹿屋市優良乳用雌牛導入資金貸付基金

### 2 審査の期間

平成30年5月1日から平成30年6月29日まで

### 3 審査の方法

審査に付された基金の運用状況を示す書類の計数を関係諸帳簿及び証書類と照合し、計数は正確であるか、基金の運用は設置目的に沿って運用されているかを関係職員の説明を求めながら、都市監査基準に準拠して実施した。

### 4 審査の結果及び意見

審査に付された基金の運用状況を示す書類の計数については、各基金とも正確で、おおむね設置目的に沿って運用されているものと認められた。

運用実績がない状態が続いていた基金のうち、鹿屋市介護保険高額サービス資金貸付基金、鹿屋市自家保留牛促進対策資金貸付基金及び鹿屋市優良乳用雌牛導入資金貸付基金については、平成29年4月1日に廃止され、鹿屋市いきいき茶産地づくり資金貸付基金については、平成30年6月29日に廃止されている。鹿屋市土地開発基金については、基金の必要性について検証されているが、基金の設置目的に応じ、基金の確実かつ効率的な運用に努められたい。

また、滞納債権のある基金については、積極的かつ効果的な回収対策を進め早期徴収に取り組まれない。

なお、定額の基金運用に当たっては、今後とも適正かつ効率的に運用し、一層の効果を上げられることを期待する。

## 5 運用の状況

### (1) 鹿屋市土地開発基金

土地開発基金は、基金の額が 720,000,000円で、前年度末現在高は現金 720,000,000円であった。年度中の運用はないため、年度末現在高は前年度末現在高と同額となっている。また、基金から生じた預金利子 576,903円は、一般会計に収入されている。

なお、平成26年度から基金の運用実績がない状態である。

前年度末現在高		年度中運用状況	年度末現在高	
現金	720,000,000円	物件購入及び債権(貸付) 0円	現金	720,000,000円
土地	0円		土地	0円
計	720,000,000円		計	720,000,000円

### (2) 鹿屋市国民健康保険高額療養資金貸付基金

国民健康保険高額療養資金貸付基金は、基金の額が 30,000,000円で、前年度末現在高は現金 24,175,697円、貸付金 5,824,303円であった。年度中の運用状況は、貸付金 36,152,644円、償還金 40,272,691円で、年度末現在高は現金 28,295,744円、貸付金 1,704,256円で、基金の額に対する当年度貸付額の回転率は 1.21回となっている。また、基金から生じた預金利子 24,012円は、一般会計に収入されている。

前年度末現在高		年度中運用状況	年度末現在高	
現金	24,175,697円	貸付金 (269件) 36,152,644円 償還金 (283件) 40,272,691円	現金	28,295,744円
貸付金 (29件)	5,824,303円		貸付金 (15件)	1,704,256円
計	30,000,000円		計	30,000,000円

### (3) 鹿屋市介護保険高額サービス資金貸付基金

介護保険高額サービス資金貸付基金は、平成29年4月1日に廃止されている。前年度末現在高は現金 1,000,000円であったが、廃止に伴い現金 1,000,000円は一般会計に振り替えられ、年度末現在高は現金及び貸付金ともに 0円となっている。

前年度末現在高		年度中運用状況	年度末現在高	
現金	1,000,000円	貸付金 (0件) 0円 償還金 (0件) 0円 基金廃止に伴う一般会計への振替 1,000,000円	現金	0円
貸付金	0円		貸付金	0円
計	1,000,000円		計	0円

(4) 鹿屋市いきいき茶産地づくり資金貸付基金

いきいき茶産地づくり資金貸付基金は、基金の額が 105,000,000 円で、前年度末現在高は現金 66,350,800 円、貸付金 38,649,200 円であった。年度中の運用状況は、新たな貸付はなく、償還金 11,499,800 円で、年度末現在高は 現金 77,850,600 円、貸付金 27,149,400 円となっている。また、基金から生じた預金利子 17,572 円は、一般会計に収入され、償還期限が満了した貸付金 910,000 円（1 件）は分納により償還されている状況である。

なお、平成27年度から基金の貸付実績がない状態が続いていたことから、基金は、平成30年6月29日に廃止されている。

前年度末現在高		年度中運用状況		年度末現在高	
現金	66,350,800円	貸付金 (0件)	0円	現金	77,850,600円
貸付金 (16件)	38,649,200円	償還金 (5件)	11,499,800円	貸付金 (11件)	27,149,400円
計	105,000,000円			計	105,000,000円

(5) 鹿屋市肉用牛導入事業基金

肉用牛導入事業基金は、高齢者等肉用牛特別導入事業基金条例を平成29年4月1日に改正したもので、前年度末現在高は 62,149,266円（現金 44,755,388円、貸付牛45頭 17,393,878円）であった。年度中の運用状況は、貸付牛14頭 8,400,000円、譲渡牛10頭 4,274,078円、繰入金 47,089,000円で、年度末現在高は 109,238,266円（現金 87,718,466円、貸付牛49頭 21,519,800円）となっている。また、基金から生じた預金利子 17,000円は、一般会計に収入され、本基金に繰り入れられている。

なお、貸付期間が満了した貸付家畜8頭の譲渡対価 2,319,800円が納付されていない状況である。

前年度末現在高		年度中運用状況		年度末現在高	
現金	44,755,388円	貸付牛 14頭	8,400,000円	現金	87,718,466円
貸付牛 45頭	17,393,878円	譲渡牛 10頭	4,274,078円	貸付牛 49頭	21,519,800円
		一般会計からの繰入金	47,089,000円		
計	62,149,266円			計	109,238,266円

一般会計からの繰入金の内訳は、基金廃止に伴い一般会計に繰り入れされた 38,115,000円（自家保留牛促進対策資金貸付基金分 19,115,000円、優良乳用雌牛導入資金貸付基金分 19,000,000円）、県家畜導入事業補助金 8,957,000円及び預金利子 17,000円である。

(6) 鹿屋市自家保留牛促進対策資金貸付基金

自家保留牛促進対策資金貸付基金は、平成29年4月1日に廃止されている。前年度末現在高は現金 19,115,000円、貸付金 885,000円であったが、廃止に伴い前年度末現在高と同額の現金及び貸付金は一般会計に振り替えられ、年度末現在高は現金及び貸付金ともに 0円となっている。

前年度末現在高		年度中運用状況		年度末現在高	
現金	19,115,000円	貸付金 (0頭)	0円	現金	0円
貸付金 (3頭)	885,000円	償還金 (0頭)	0円	貸付金 (0頭)	0円
		基金廃止に伴う一般会計への振替	20,000,000円		
計	20,000,000円			計	0円

一般会計への振替の内訳は、現金（前年度末現在高）19,115,000円及び貸付金 885,000円（3頭分）である。

(7) 鹿屋市優良乳用雌牛導入資金貸付基金

優良乳用雌牛導入資金貸付基金は、平成29年4月1日に廃止されている。前年度末現在高は現金 19,000,000円、貸付金 1,000,000円であったが、廃止に伴い前年度末現在高と同額の現金及び貸付金は一般会計に振り替えられ、年度末現在高は現金及び貸付金ともに 0円となっている。

前年度末現在高		年度中運用状況		年度末現在高	
現金	19,000,000円	貸付金 (0頭)	0円	現金	0円
貸付金 (2頭)	1,000,000円	償還金 (0頭)	0円	貸付金 (0頭)	0円
		基金廃止に伴う一般会計への振替	20,000,000円		
計	20,000,000円			計	0円

一般会計への振替の内訳は、現金（前年度末現在高）19,000,000円及び貸付金 1,000,000円（2頭分）である。